

脳脊髄のシャント疾患（硬膜動静脈瘻あるいは動静脈奇形）に対して 当院での血管内治療での治療歴がある患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に対するご協力をお願い）

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

脳脊髄におけるシャント疾患（硬膜動静脈瘻及び動静脈奇形）に対する血管内治療の安全性と有効性

【研究の背景と目的】

現在、脳脊髄に発生するシャント疾患（硬膜動静脈瘻及び動静脈奇形）に対しては、手術による摘出、血管内治療、放射線治療を単独ないしは組み合わせることで治療が行われていますが、脳脊髄に発生するシャント疾患は稀な疾患のため、治療方針は個々の症例に応じて決定されており、治療法の妥当性に関する報告が少ないのが現状です。そこで、今回の研究では、当院で脳脊髄のシャント疾患に血管内治療を行った患者さんのカルテ情報を使用して、血管内治療の安全性及び有効性を検討することとしました。

【対象となる方】

2010年4月1日から2025年3月31日までの期間に当院にてシャント疾患（硬膜動静脈瘻孔あるいは動静脈奇形）に対して血管内治療を行い、治療後の画像検査としてMRAあるいは脳血管撮影の全ての検査を受けた方です。

【使用する診療情報】

患者さんの基本情報：年齢、性別、既往歴、発見時の症候、術前の身体機能（mRS）

硬膜動静脈瘻か動静脈奇形、シャントの部位、動脈瘤の併発の有無

静脈瘤の併発の有無、一回の治療で塞栓を行った血管の数

手術の情報：手術日、初回治療あるいは再治療、コイルの使用の有無、液体塞栓物質の使用の有無

アクセス情報、治療直後の塞栓状態、周術期合併症（出血性合併症、虚血性合併症、その他の手技に直接関連した合併症）の有無、血管内治療以外の他の治療の有無

術後の動脈瘤の塞栓状態：評価日、評価方法（MRA、脳血管撮影）

最終フォローアップ時点での塞栓状態、身体機能（mRS）

【研究期間と参加予定人数】

この研究は病院長の許可日（2025年5月23日）から2028年3月31日まで実施され、146名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究で得られた情報を、脳神経外科関連学会や医学雑誌などに発表させていただくことがありますが、この場合であってもあなたの名前や個人を識別する情報は一切公表されません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 滝川知司（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 担当者：成合康彦（病院助教）

電話番号：048-965-8682（医局直通） 受付時間（平日のみ）：9:00 ～ 14:00

以上